

科目名 (科目番号)	母性看護学概論 (074181)	教員名 大槻優子	学科等	看護	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		金	A211 研究室	
授業概要	人としての性と生殖の意義を理解し、女性の一生を通しての健康の維持・増進と母性機能を円滑に遂行していくための母性看護の機能および役割について理解する。母性および父性の概念、母性の身体的(形態・機能)、心理・社会的特性、ライフサイクルにおける各期の対象の特徴と健康問題、母性看護の意義および目的等について、講義を主体とし、視聴覚教材の活用、グループワークを通して学習する。 関係する垂直軸:看護、人間の理解、健康の状態、生活環境						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	母性看護の概念 母性看護の基盤となる考え方 母性看護の目的 母性看護の現状と課題	到達目標:母性看護の中核となる理念、母性看護の目的、リプロダクティブヘルツ/ライツについて理解し、母性看護における現状の課題について察する。 学習内容:母性のとらえ方、母性看護の中核となる理念、母性看護の目的および現状と課題について学習する。				
	2	母子保健の変遷と現状 母性看護の対象を取り巻く環境	到達目標:母性看護の歴史とその変遷を知り、母性看護の対象を取り巻く現在の環境について理解する。 学習内容:母性看護の歴史とその変遷、母性看護の対象を取り巻く現在の環境について学習する。				
	3	母子保健に関する制度・法律 母子保健統計から見た動向	到達目標:母性看護に関する組織や法律、統計的指標を確認し、母子保健施策の観点から母性看護の現状を理解する。 学習内容:母性看護に関する組織や制度・法律、統計的指標を学習する。				
	4	母性看護の対象理解-① 女性のライフサイクルにおける 形態・機能の変化 女性のライフサイクルと家族	到達目標:生殖器の形態および機能について理解し、とくに女性については月経周期による変化について理解できる。女性のライフサイクルの変化と家族の発達との関連から、母性看護学の対象である女性の一生について理解する。 学習内容:生殖器の形態および機能、女性の月経周期による変化、女性のライフサイクルの変化と家族の発達について学習する				
	5	母性看護の対象理解-② 女性性の発達 母性・父性・親性の発達 母子関係と愛着	到達目標:女性性、母性性と父性性および親性の発達過程について理解できる。母子関係形成過程における愛着行動・母子相互作用について理解する。 学習内容:女性性、母性性と父性性および親性の発達過程、母子関係形成過程における愛着行動・母子相互作用について学習する。				
	6	母性看護における生命倫理	到達目標:性といのちをめぐる倫理問題について理解し、看護師が行うべき倫理的配慮について考察する。 学習内容:性といのちをめぐる倫理問題について学習する。				
	7	人間の生殖と性の概念-①	到達目標:人間の性を示すセクシュアリティ、人間の性の特徴・性行動について理解する。 学習内容:人間の性の意義、人間の性の特徴・性行動について学習する。				
	8	人間の生殖と性の概念-②	到達目標:多様な性について理解する。 学習内容:患者の性、障がい者の性、性的マイノリティについて学習する。				
	9	女性のライフステージ各期の健康問題	到達目標:女性のライフステージ各期の特徴を理解し健康課題について考えることができる。 学習内容:女性のライフステージ各期の特徴について学習する。				
	10	ライフステージ各期の健康問題について(演習-①)	到達目標: ①テーマを理解し学習を進めることができる。 ②女性のライフサイクル各期における健康と健康問題について、客観的なデータを用いて考察する。				
	11	ライフステージ各期の健康問題について(演習-②)	③看護者としての役割について考察する。 ④文献・資料の活用ができる。 ⑤適切で効果的な発表ができる。				
	12	ライフステージ各期の健康問題について(演習-③)	⑥グループの一員として責任ある活動ができる。 学習内容:女性のライフステージ各期の健康問題についてグループワークにより学習する。				
	13	演習発表-①	到達目標:女性のライフステージ各期の健康問題に対する支援方法について理解する。				
	14	演習発表-②	学習内容:グループワークによりまとめた課題を発表する。				
15	母性保健における健康課題と母性看護の意義	到達目標:現代社会における母性保健をめぐる健康課題について確認し母性看護の意義および目的を明確にする。 学習内容:母性保健における健康課題と母性看護の意義について学習する。					
成績評価の方法・基準	期末試験(80%)+グループワーク課題レポート(20%) により評価する。						
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論(第17版)	森恵美/高橋真理/工藤美子 他 著	医学書院				
参考図書	授業の中で適宜指示します。						
教員からのメッセージ	母子保健の現状と課題について学び、学生自身が自己の健康管理にも関心を持っていただくことを期待します。また、コメントを付してレポートを返却します。						